
User's Manual

CL250
Clamp-on Tester
クランプテスタ

IM CL250

保証書付

目次

■安全にご使用いただくために	i
1. 各部の説明	1
2. 測定方法	3
2.1 測定を始める前に	3
2.2 直流電流の測定	3
2.3 交流電流の測定	4
2.4 直流電圧の測定	5
2.5 交流電圧の測定	5
2.6 抵抗測定	6
2.7 導通チェック (400Ωレンジ固定)	7
2.8 MAX 測定	8
3. 機能の説明	9
3.1 スリープ機能	9
3.2 データホールド機能	9
3.3 OUTPUT 端子 (電流測定時のみ使用可能)	10
3.4 別売アクセサリの使用方法	11
4. 電池の交換	12
5. 仕様	13
6. 校正およびアフターサービス	16

■安全にご使用いただくために

本器を正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。また、取扱説明書の中に記載されている注意、警告の内容は必ず厳守してください。これらの注意に反したご使用により生じた故障や損害については、当社では責任と保証を負いかねます。

本器および取扱説明書には、安全に使用していただくために次のシンボルマークを使用しています。



“取扱注意”を示しています。人体および機器を保護するため、取扱説明書を参照する必要がある場合に付いています。



二重絶縁または強化絶縁で保護されていることを示しています。



交流 (AC) を示しています。



直流 (DC) を示しています。



交流 (AC) と直流 (DC) の両方を示しています。



アース（大地）を示しています。



警告

回避しないと、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される場合に使用します。



注意

回避しないと、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合、または製品などの機器に物理的損害が発生する可能性が想定される場合に使用します。

注記

製品を取り扱う上で重要な情報および操作や機能を知る上で注意すべきことがらを記述する場合に使用します。



警告

-
- 本器は、AC750V/DC1000V 以上の回路では、絶対に使用しないでください。
 - 本器を可燃性/爆発性のガスまたは雰囲気のある場所で使用しないでください。
 - トランス先端部は被測定物をショートしないような構造になっていますが、絶縁されていない導線を測定する場合トランスコアで被測定物をショートしないよう注意してください。
 - 本器に雨または湿気などの水滴が付着した状態での使用や、濡れた手での操作は行わないでください。
 - 測定の際には、測定範囲を超える入力を加えないでください。
 - 電池カバーを外した状態では、絶対に測定しないでください。
 - 本器のケースが損傷または外れている場合には、測定をしないでください。

- 測定物に測定リードを接続したままファンクションスイッチを切り換えな
いでください。
- 本器の分解、改造、代用部品の取付けは行わないでください。
- 電池交換のため電池カバーを開けるときは、測定リードを外し、ファンク
ションスイッチを OFF にしてください。



警告

本器は、安全規格に規定された過電圧カテゴリによって使用電圧の制限があ
ります。これらは、給電ラインに含まれる過渡的なインパルス電圧から測定
者の安全を確保するためです。

ファンクション	最大許容入力	
	過電圧カテゴリ II	過電圧カテゴリ III
～A, ≡A	AC 2000A rms 測定回路電圧 AC 750V rms DC 1000V	AC 2000A rms 測定回路電圧 AC 600V rms DC 600V
～V, ≡V	AC 750V rms/DC 1000V	AC 600V rms/DC 600V
入力端子と 大地（アース）間	AC 750V rms/DC 1000V	

過電圧カテゴリは以下のとおりです。

過電圧カテゴリ I (CAT. I) コンセントから電源変圧器を経由した 2 次側回路の範囲

過電圧カテゴリ II (CAT. II) コンセントに接続された機器の 1 次側回路の範囲

過電圧カテゴリ III (CAT. III) 屋内の配電盤からコンセントの範囲



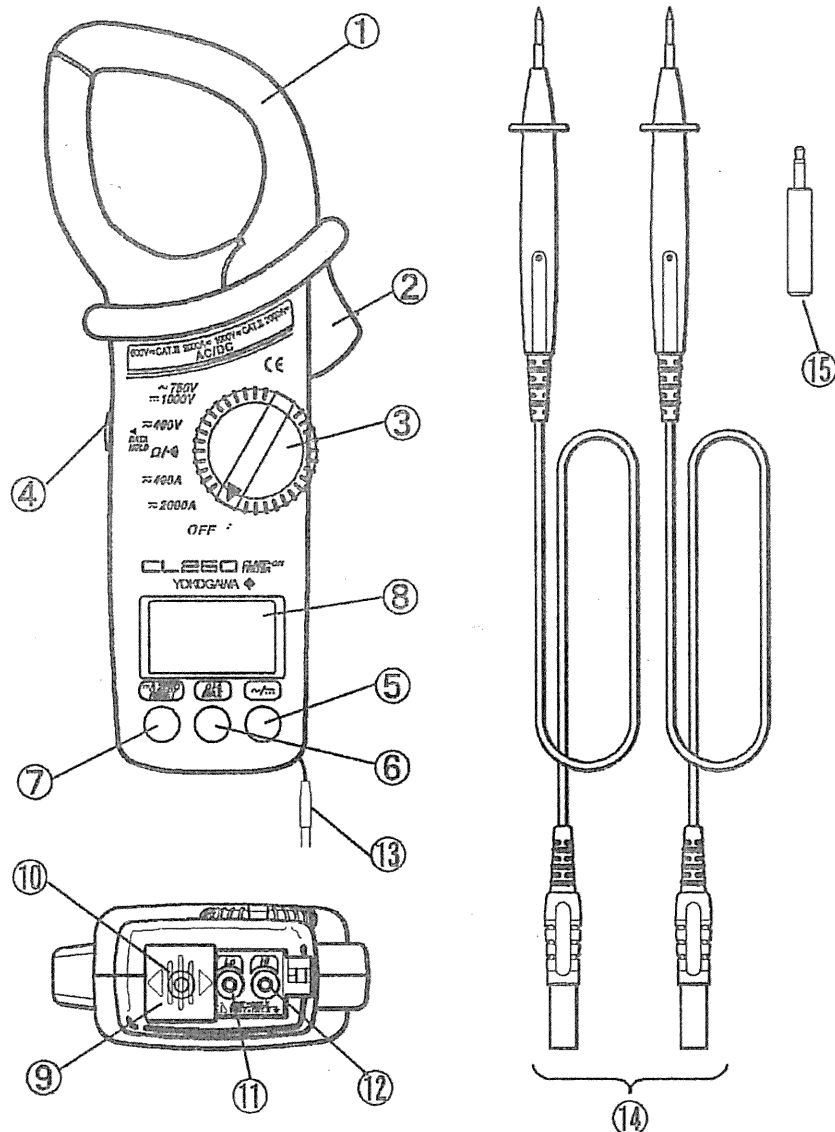
注意

- 測定リードを使用するときは、プラグを根元まで本体の端子に差し込んでください。
- 電流測定の際は、必ず測定リードを本器から外してください。
- 使用後は必ずファンクションスイッチを OFF にしてください。長期間使用
しない場合には、電池を外して保管してください。
- クリーニングには研磨剤や溶剤を使用しないで中性洗剤か水に浸した布を
使用してください。

注記

- 放射イミュニティは、EN 61000-4-3: 1997 の条件下で電氣的性能（確度）に
影響します。
- この機器の使用は住宅・商業用および軽工業の環境に制限されます。もし、機器の
付近に強い電磁干渉装置がある場合は、誤動作を起こす可能性があります。

1. 各部の説明



- ① トランスコア： 電流検出用センサ
- ② 開閉レバー： トランスコア開閉用レバー
- ③ ファンクションスイッチ
測定機能切換スイッチおよび電源スイッチ。“OFF” の位置で電源が切れます。
- ④ データホールドスイッチ
LCD 表示部の測定値を保持するためのスイッチです。表示部に **H** マークが表示されます。
- ⑤ **~/=** スイッチ
AC/DC を切り換えるスイッチです。
電源を入れた初期状態では AC モードに設定され、1 回押すと DC モードに切り換わります。

⑥ **MAX** スイッチ

電流、電圧レンジでスイッチを押すことにより MAX 測定モードになり、LCD 表示部に **MAX** が表示され、測定値の最大値を表示します。

再度押すことで MAX 測定が解除されます。

抵抗レンジでスイッチを押すことにより導通チェックになり、LCD 表示部に **•••** が表示され測定値が約 50Ω以下の場合ブザーが鳴ります。

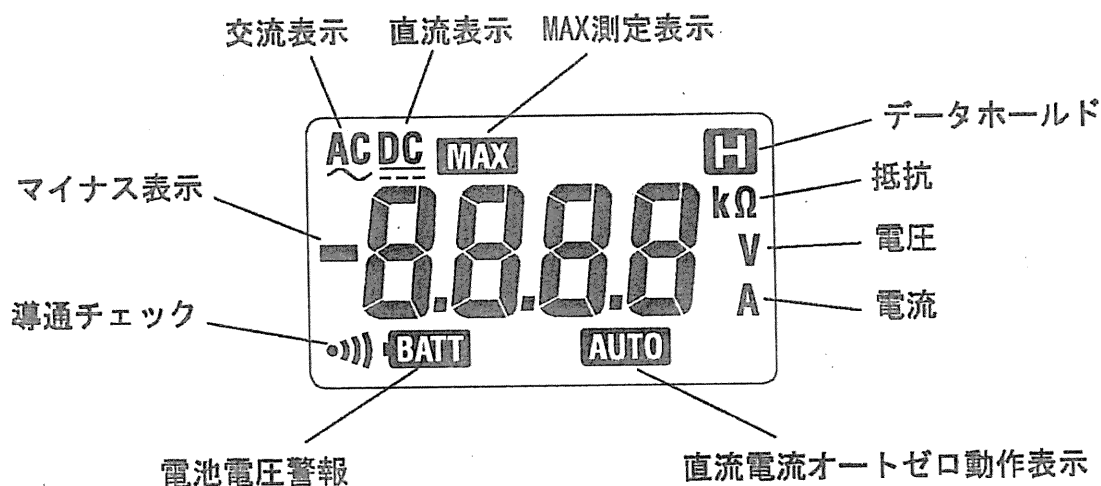
再度押すことで導通チェックが解除されます。

⑦ **400A ZERO RESET** スイッチ

直流電流測定時、ゼロ調整/MAX 測定モードでの指示値のリセット。直流電流 (400A レンジ)でのゼロ調整で **AUTO** のマークを表示します。

⑧ LCD 表示部

LCD 表示で、最大表示は“3999”です。ファンクション、小数点、記号が表示されます。



⑨ スライドカバー

OUTPUT 端子を使用するときは入力端子が使用できなくなり、誤って電圧を入力する危険を防ぎます。

⑩ OUTPUT 端子 (電流測定時のみ使用可能)

交流電流測定時は測定値が直流電圧に変換されこの端子から出力されます。直流電流測定時は測定値が直流電圧に変換されこの端子から出力されます。この出力は記録計などに接続し、モニタなどに使用可能です。なお、電圧測定、抵抗測定時には、OUTPUT 端子は使用できません。

⑪ Lo 端子

電圧および抵抗測定時に測定リード (黒) を接続する端子です。

⑫ Hi 端子

電圧および抵抗測定時に測定リード (赤) を接続する端子です。

⑬ ハンドストラップ

使用中に手に通し、本器の落下を防止するためのバンドです。

⑭ 測定リード (形名: 98011)

電圧および抵抗測定時に使用し、入力端子に接続します。

⑮ 出力プラグ (形名: 98012)

OUTPUT 端子から出力を取り出す場合に加工して使用します。(3.3 OUTPUT 端子参照)

2. 測定方法

2.1 測定を始める前に



注意

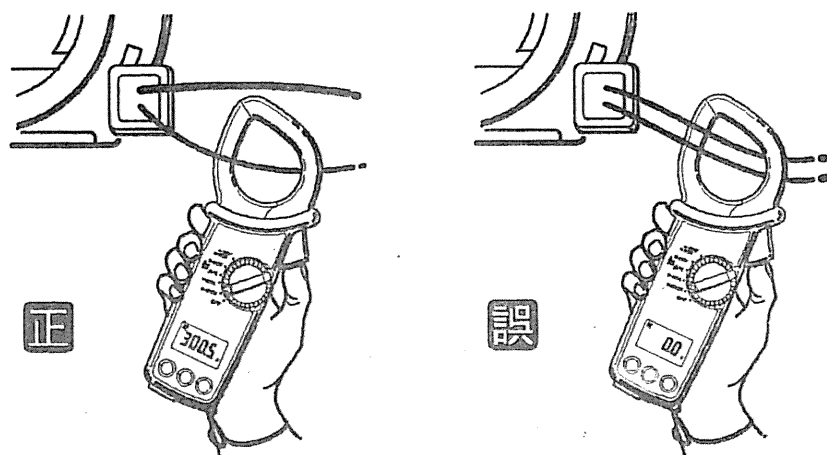
- トランスコア部は精密なセンサのため、使用の際は強い衝撃や振動、無理な力を与えないでください。
- トランスコアの先端部にゴミなどが入った場合は、直ちにゴミを取り除いてください。そのままの状態ではトランスコアを閉じるとセンサを破損する原因となります。
- 測定前に必ず測定したいレンジ、モードに設定されていることを確認してください。

2.2 直流電流の測定



警告

- 本器は、DC 1000V 以上の回路では、絶対に使用しないでください。
- 測定リードを取り付けた状態で、電流測定をしないでください。



- (1) ファンクションスイッチを $\sim$ 400A にセットし、 $\sim$ スイッチを押して直流 (DC) にしてください。LCD 表示部に “DC” が表示されます。
- (2) 被測定導体を挟まずにトランスコアを閉じた状態で、 $\sim$ A ZERO RESET スイッチを 1 秒間押し、LCD 表示を “0” にしてください。(ゼロ調整。 $\sim$ A ZERO RESET スイッチは 400A レンジのみ動作します。) LCD 表示部に **AUTO** マークが表示されます。
- (3) 被測定電流に合わせてファンクションスイッチを切り換えます。
- (4) 開閉レバーを押してコアの先端を開き被測定導体の 1 本をコアの中心になるようクランプしてください。LCD 表示部に測定値が表示されます。

注記

- 被測定可能導体径は、約 $\phi 55\text{mm}$ です。大きい導体をクランプしトランス

コア先端が完全に閉じていない状態では正確な測定ができません。

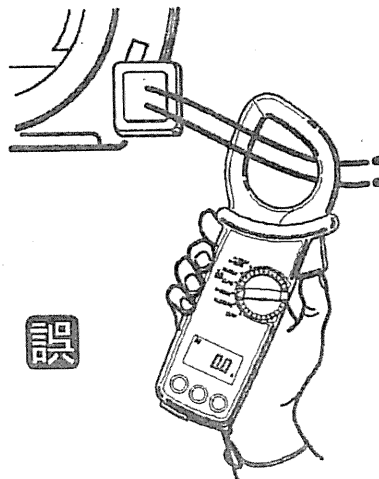
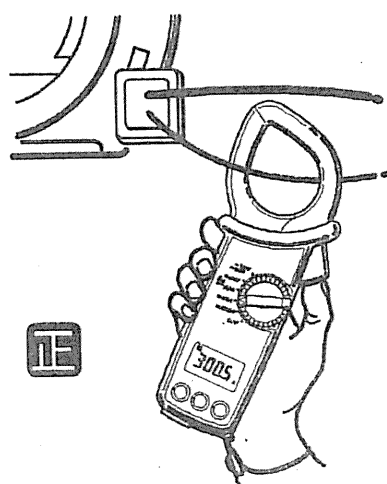
- クランプ電流の向きは、表側（表示部側）から裏側へ流れる場合は、プラス（+）になり裏側から表側へ流れる場合は、マイナス（-）になります。
- OUTPUT 端子の出力は **mA ZERO RESET** スイッチを押して表示を“0”にしても出力はゼロにならない場合があります。接続する記録計などでゼロを合わせてください。
- ゼロ調整をした後、ファンクションスイッチを直流電流以外にセットすると、ゼロ調整が解除されます。

2.3 交流電流の測定



警告

- 本器は、AC 750V 以上の回路では、絶対に使用しないでください。
- 測定リードを取り付けた状態で、電流測定をしないでください。



- (1) ファンクションスイッチを $\sim$ 400A または $\sim$ 2000A にセットしてください。（初期状態では交流(AC)ですが、直流(DC)になっている場合は **~/=** スイッチを押して交流(AC)にしてください。）LCD 表示部に“AC”が表示されます。
- (2) 開閉レバーを押してコアの先端を開き被測定導体の 1 本をコアの中心になるようクランプしてください。LCD 表示部に測定値が表示されます。

注記

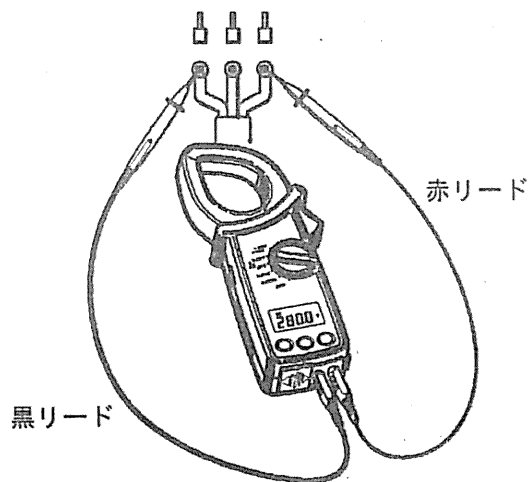
- 被測定可能導体径は、約 ϕ 55mm です。大きい導体をクランプし、コア先端が完全に閉じていない状態では正確な測定ができません。
- 交流電流測定の場合は、ゼロ調整は必要ありません。また、電流の方向も表示には関係ありません。
- OUTPUT 端子の出力は **mA ZERO RESET** スイッチを押して表示を“0”にしても出力はゼロにならない場合があります。接続する記録計などでゼロを合わせてください。

2.4 直流電圧の測定



警告

本器は、DC 1000V 以上の回路では、絶対に使用しないでください。



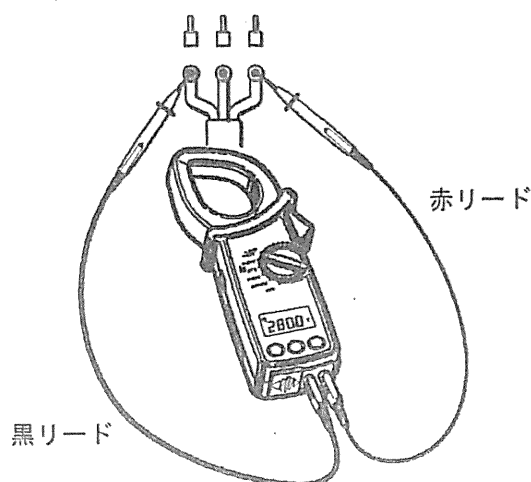
- (1) ファンクションスイッチを $\sim$ 400V または $\equiv$ 1000V にセットし、 スイッチを押して直流 (DC) にしてください。LCD 表示部に “DC” が表示されます。
- (2) スライドカバーを左にスライドさせ、赤の測定リードを Hi 端子に、黒の測定リードを Lo 端子に接続してください。
- (3) 被測定回路の (+) 側に赤の測定リード、(-) 側に黒の測定リードを接続してください。LCD 表示部に測定値が表示されます。

2.5 交流電圧の測定



警告

本器は、AC 750V 以上の回路では、絶対に使用しないでください。



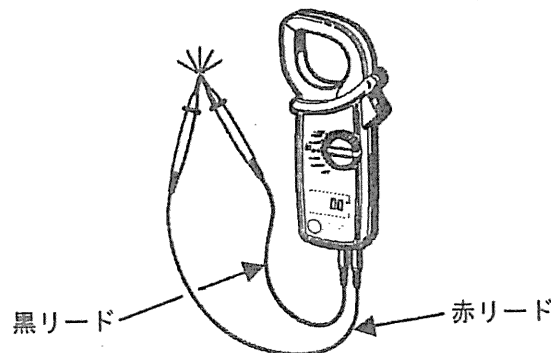
- (1) ファンクションスイッチを $\sim$ 400V または $\sim$ 750V にセットしてください。(初期状態では交流(AC)ですが、直流(DC)になっている場合は $\sim/\equiv$ スwitchを押して交流(AC)にしてください。) LCD 表示部に“AC”が表示されます。
- (2) スライドカバーを左にスライドさせ、赤の測定リードを Hi 端子に、黒の測定リードを Lo 端子に接続してください。
- (3) 被測定回路に測定リードを接続してください。LCD 表示部に測定値が表示されます。

2.6 抵抗測定



警告

本器は、電位のある回路では、絶対に使用しないでください。



- (1) ファンクションスイッチを $\Omega/\bullet$ にセットしてください。LCD 表示部に“ Ω ”が表示されます。
- (2) スライドカバーを左にスライドさせ、赤の測定リードを Hi 端子に、黒の測定リードを Lo 端子に接続してください。
- (3) このときの表示は、オーバー表示であることを確認し、測定リードをショートさせ LCD 表示が“0”になることを確認してください。
- (4) 被測定抵抗の両端に測定リードを接続してください。LCD 表示部に測定値が表示されます。

注記

- 測定リードをショートしても、表示が完全に 0 にならない場合がありますが、これは測定リードの抵抗によるもので、不良ではありません。
- 測定リードがオープンときは、表示は“OL”となっています。

2.7 導通チェック (400 Ω レンジ固定)



警告

本器は、電位のある回路では、絶対に使用しないでください。

- (1) ファンクションスイッチを $\Omega/\text{蜂鳴}$ にセットしてください。
- (2) スライドカバーを左にスライドさせ、赤の測定リードを Hi 端子に、黒の測定リードを Lo 端子に接続してください。
- (3)  スwitchを 1 回押し、導通チェックモードにしてください。LCD 表示部に “ 蜂鳴 ” が表示されます。
- (4) このときの表示はオーバー表示であることを確認し、測定リードをショートさせ LCD 表示が “0” になりブザーが鳴ることを確認してください。
- (5) 導通をチェックする回路に測定リードを接続してください。そのときの抵抗値が 50.0 Ω 以下のときブザーが鳴ります。

注記

- 測定リードをショートしても、表示が完全に 0 にならない場合がありますが、これは測定リードの抵抗によるもので、不良ではありません。
- 測定リードがオープンときは、表示は “OL” となっています。

2.8 MAX 測定（応答時間：400ms）

抵抗（ Ω ）レンジ以外のレンジ測定中の最大値を表示します。
長時間測定することで測定期間中の最大値を測定することができます。



警告

- 本器は、AC 750V/DC 1000V 以上の回路では、絶対に使用しないでください。
- 測定リードを取り付けた状態で、電流測定をしないでください。

- (1) ファンクションスイッチを測定したいレンジにセットしてください。
- (2)  スイッチを押し、MAX 測定モードにしてください。LCD 表示部に **MAX** が表示されます。
- (3) 正しい測定値を得るため、測定準備完了後（クランプまたは測定リード接続後）、一度  スイッチを押してください。
- (4) 各測定と同じ手順で測定してください。LCD 表示部に測定中の最大値が表示されます。
- (5) MAX 測定を解除するには、再度  スイッチを押してください。

注記

- MAX 測定では、データホールド機能は使用できません。
- 長時間の MAX 測定をする場合は、スリープ機能をキャンセルしてください（「3.1 スリープ機能」参照）。キャンセルしない場合は、約 10 分でスリープ状態になります。

3. 機能の説明

3.1 スリープ機能

電源の切り忘れによる電池の消耗を防ぎ、電池寿命を延ばすための機能です。ファンクションスイッチまたは他のスイッチ操作後から約 10 分間で自動的にスリープ（パワーダウン）状態になります。

操作を再開するには、ファンクションスイッチを一度 OFF にするか、いずれかのスイッチを押すことでスリープ状態から復帰し通常の測定ができます。

スリープ状態では、わずかながら電流を消費します。

スリープ状態の解除

データホールドボタンを押したまま、電源を入れることにより、スリープ機能は解除されます。このとき電源を入れてから約 3 秒間、LCD 表示部に“P. OFF”が表示されます。

再度スリープ機能を有効にするには、データホールドボタンを押さないで電源を入れ直してください。

注記

OUTPUT 端子にプラグを差し込んだときは、スリープ機能は動作しません。プラグを抜いた時点から約 10 分でスリープ状態になります。

3.2 データホールド機能

測定した値を LCD 表示部に固定する機能です。データホールドスイッチを 1 回押すとホールド状態になり、そのときのデータが保持されます。入力に変化しても表示は変わりません。LCD 表示部に“**H**”が表示されます。

データホールドを解除するには、データホールドスイッチをもう 1 回押してください。

注記

- データホールド中にスリープ機能が働くと、ホールドは解除されます。
- MAX 測定モードでの使用はできません。

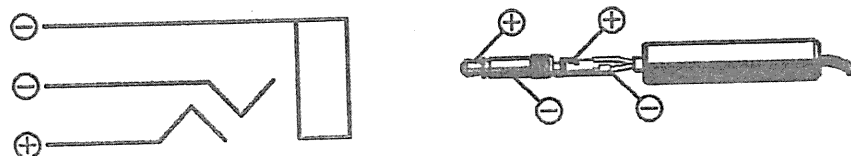
3.3 OUTPUT 端子（電流測定時のみ使用可能）



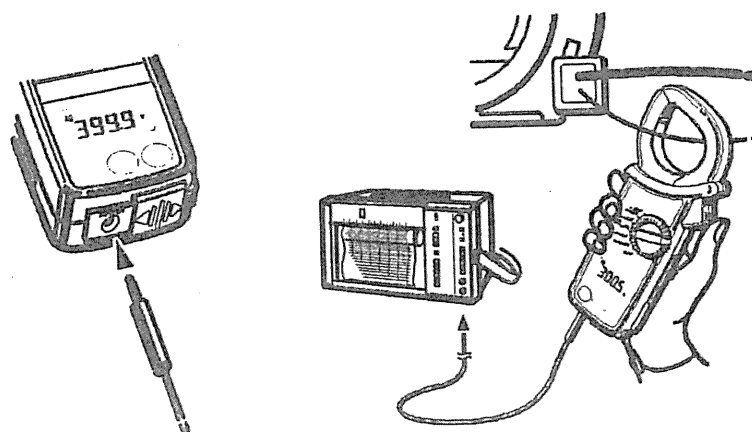
警告

- 本器は、AC 750V/DC 1000V 以上の回路では、絶対に使用しないでください。
- OUTPUT 端子には、絶対に電圧を加えないでください。

- (1) OUTPUT 端子からの出力を取り出すには、付属のプラグを加工して使用してください。



- (2) スライドカバーを右側へスライドさせ（Lo 端子/Hi 端子を塞ぐ）OUTPUT 端子に加工したプラグを差し込み、コードを記録計などの入力端子に接続してください。



- (3) ファンクションスイッチを $\sim$ 400A または $\sim$ 2000A セットしてください。（400A/2000A のみ使用可能）、
これ以後の各操作はそれぞれの測定と同じ手順で行ってください。

注記

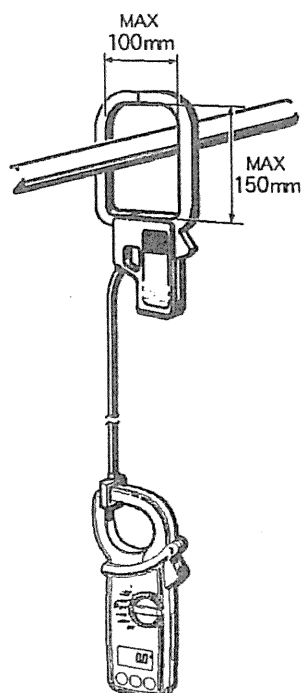
- 直流電流の測定において OUTPUT 端子の出力は **A ZERO RESET** スイッチを押して表示を“0”にしても出力はゼロにならない場合があります。接続する記録計などでゼロを合わせてください。
- OUTPUT 端子にプラグを差し込んだときは、スリープ機能は動作しません。プラグを抜いた時点から約 10 分でスリープ状態になります。
- OUTPUT 端子の出力は「5. 仕様」のとおりです。出力にあわせて記録計などの感度を設定してください。

3.4 別売アクセサリの使用法

クランプアダプタ（形名：99025）（交流電流のみ）

本器だけでは測定できない最大 3000A の電流や、大形ブスバーおよび太い電線の電流が測定できます。

- (1) ファンクションスイッチを $\sim$ 400A にセットしてください。
- (2) $\sim/\square$ スイッチを押して交流 (AC) にしてください。
- (3) 図のようにクランプアダプタの検出部をクランプしてください。
- (4) クランプアダプタを測定するブスバーまたは電線をクランプしてください。
- (5) 本器の指示値を 10 倍した値が求める電流値です。



注記

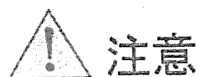
詳しい仕様は、クランプアダプタの取扱説明書を参照してください。

4. 電池の交換



警告

感電事故を避けるため、電池交換の際はファンクションスイッチを必ず OFF にして、測定リードを本体から外してください。



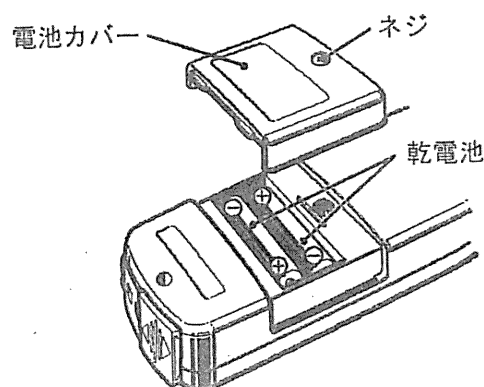
注意

- 乾電池は、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。
- 乾電池の極性を間違えないように接続してください。

乾電池の電圧警告 “**BATT**” マークが LCD 表示部に表示されたら、新しい乾電池と交換してください。

また、乾電池が完全になくなっていてもいる場合は、表示部が消え、“**BATT**” マークも表示されませんので注意してください。

- (1) ファンクションスイッチ（電源スイッチ）を OFF にしてください。
- (2) 本器背面に付いている電池カバーのネジをゆるめ電池カバーを外してください。
- (3) 新しい乾電池と交換してください。乾電池は単 3 形乾電池 2 個です。
- (4) 電池カバーを取り付け、ネジを締めてください。



5. 仕様

■機器仕様

- 測定範囲および確度 (23±5°C, 45~85%RH において)

直流電流 ---A

レンジ	測定範囲	確度
400A	0~±400.0A	±1.5% rdg ±2dgt
2000A	0~±2000A	

交流電流 $\sim\text{A}$

レンジ	測定範囲	確度
400A	0~400.0A	±1.5% rdg ±2dgt (50/60Hz)
2000A	0~1000A	±3.0% rdg ±4dgt (40~500Hz) ±5.0% rdg ±4dgt (500~1kHz)
	1001~2000A	±3.0% rdg ±2dgt (50/60Hz)

直流電圧 ---V 入力インピーダンス: 2MΩ

レンジ	測定範囲	確度
400V	0~±400.0V	±1.0% rdg ±2dgt
1000V	0~±1000V	

交流電圧 $\sim\text{V}$ 入力インピーダンス: 2MΩ

レンジ	測定範囲	確度
400V	0~400.0V	±1.5% rdg ±2dgt (50/60Hz)
750V	0~750V	±1.5% rdg ±4dgt (40~1kHz)

抵抗 Ω (2レンジオート)

レンジ	測定範囲	確度
400Ω	0~4000Ω	±1.5% rdg ±2dgt
4000Ω		

抵抗, 導通 $\Omega/\text{---}$ (レンジ固定)

レンジ	測定範囲	確度
400Ω	0~400.0Ω	±1.5% rdg ±2dgt (50±35Ω以下でブザー鳴動)

OUTPUT 端子 出カインピーダンス：約 10k Ω

レンジ		出力電圧 DCmV	入力電流	確度
直 流	400A	0～400.0mV	0～400A	$\pm 1.5\%$ rdg $\pm 3\text{mV}$
	2000A	0～200.0mV	0～2000A	$\pm 1.5\%$ rdg $\pm 3\text{mV}$
交 流	400A	0～400.0mV	0～400A	$\pm 1.5\%$ rdg $\pm 3\text{mV}$ (50/60Hz)
	2000A	0～100.0mV	0～1000A	$\pm 3.0\%$ rdg $\pm 3\text{mV}$ (40～500Hz)
		100.1～200.0mV	1001～2000A	$\pm 5.0\%$ rdg $\pm 3\text{mV}$ (500～1kHz)
				$\pm 3.0\%$ rdg $\pm 3\text{mV}$ (50/60Hz)

※電磁波対応性 無線周波数電磁界＝<1V/mでは、規定の確度
(IEC 61000-4-3) 無線周波数電磁界＝3V/mでは、規定の確度＋レンジの2%

■一般仕様

動作方式 二重積分方式
測定機能 直流電流，交流電流，直流電圧，交流電圧，抵抗，導通チェック
表示 液晶表示 最大 3999，単位，記号
入力オーバー表示 OL 表示
応答時間 約 2 秒
サンプルレート 約 2.5 回/秒
確度保証温湿度範囲 23℃ $\pm$ 5℃，85%RH 以下（結露がないこと）
使用温湿度範囲 0～40℃，85%RH 以下（結露がないこと）
保存温湿度範囲 -20～60℃，85%RH 以下（結露がないこと）
導体位置の影響 導体径 Φ 10mm (100A) によりコア内のあらゆる位置において中心時指示値の $\pm 1.5\%$ rdg ± 3 dgt 以内
外部磁界の影響 400A/m の磁界中において 4A 以下
電源 単 3 形乾電池（LR6 または R6P (SUM-3)） 2 個
電池寿命 約 100 時間（連続）
消費電流 約 9mA
スリープ機能 スイッチ操作後約 10 分でスリープ状態（消費電流約 20 μ A）
耐電圧 AC 5500V/1 分間
（電気回路と外箱および電気回路とトランスコア金属部の間）
絶縁抵抗 10M Ω 以上/1000V
（電気回路と外箱および電気回路とトランスコア金属部の間）
被測定可能導体径 最大約 Φ 55mm
外形寸法 約 105 (W) $\times$ 250 (H) $\times$ 49 (D) mm
質量 約 530 g（電池含む）

安全規格	EN 61010-1		
	EN 61010-2-032		
	過電圧カテゴリⅢ 600V, 過電圧カテゴリⅡ 1000V,		
	汚染度 2		
EMC 規格	EN 61326		
	EN 55022		
付属品	測定リード	形名：98011	1 セット
	単 3 形乾電池	R6P(SUM-3)	2 個
	携帯用ケース	形名：93034	1 個
	出力プラグ	形名：98012	1 個
	取扱説明書	IM CL250	1 部
アクセサリ (別売)	クランプアダプタ	形名：99025	
	出力ケーブル (ネジ端子用)	形名：91019	

6. 校正およびアフターサービス

本器をご使用中、万一不具合が生じましたら、下記項目を点検してください。
それでも正常な動作を示さず修理を必要とする場合には、お買い上げいただいた販売店または当社か下記横河エンジニアリングサービス(株)までお申し付けください。

- 電源を入れ直してください。
- 電池電圧の低下によるものであれば、電池を新しいものと交換してください。（「4. 電池の交換」参照）

校正

本器を正しくご使用いただくためにも、定期的に校正することをお勧めします。

推奨校正周期：1 年

本器の修理または校正

本器の修理または校正については下記へ連絡してください。

横河エンジニアリングサービス株式会社

テクニカルサービス事業部

〒190-8586 東京都立川市栄町 6-1-3

TEL: 042-534-1150

保証について

本器は厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備により故障あるいは輸送中の事故などによる故障の節は、お買い上げいただいた販売店または当社にお申し付けください。

なお、当社製品の保証期間は納入日より1か年です。

保証書

※ご使用者名

殿

形名 CL250

※製造番号

保証期間 ※購入日

年 月 より 1 年間

お願い

本保証書はアフターサービスの際必要となります。お手数でも※印箇所ご記入のうえ本器の最終ご使用者のお手許に保管してください。

○保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は下記に記載の保証規程により無償で修理いたします。

○本保証書は日本国内でのみ有効です。また保証書の再発行はいたしません。

(This warranty is valid only in Japan.)

保証規程

保証期間中に生じた故障は無償で修理いたします。

但し、下記事項に該当する場合は無償修理の対象から除外いたします。

記

- (1) 不適当な取扱いまたは不適当な使用による故障。
- (2) 設計仕様条件をこえた取扱い使用または保管による故障。
- (3) 電池等の消耗品および自然減耗部品の交換。
- (4) 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障。
- (5) 火災・水害・地震その他の天災を始め故障の原因が本器以外の理由による故障。
- (6) その他当社の責任とみなされない故障。

以上



横河 M&C 株式会社

計測機器営業部

〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32

0422-52-5984



Yokogawa M&C Corporation

YOKOGAWA M&C CORPORATION

International Sales Dept.

2-9-32 Nakacho, Musashino-shi, Tokyo, 180-8750 Japan

Phone: 81-422-52-5716 Facsimile: 81-422-55-8654

YOKOGAWA CORPORATION OF AMERICA (U.S.A.)

Phone: 1-770-253-7000 Facsimile: 1-770-251-2088

YOKOGAWA EUROPE B. V. (THE NETHERLANDS)

Phone: 31-334-64-1611 Facsimile: 31-334-64-1610

YOKOGAWA AMERICA DO SUL S. A. (BRAZIL)

Phone: 55-11-5681-2400 Facsimile: 55-11-5681-1274

YOKOGAWA ENGINEERING INSTRUMENTS KOREA CORPORATION (KOREA)

Phone: 82-2-551-0660 to -0664 Facsimile: 82-2-551-0665

YOKOGAWA AUSTRALIA PTY. LTD. (AUSTRALIA)

Phone: 61-2-9805-0699 Facsimile: 61-2-9888-1844

YOKOGAWA BLUE STAR LTD. (INDIA)

Phone: 91-80-227-1513 Facsimile: 91-80-227-4270

LTD. YOKOGAWA ELECTRIC (RUSSIAN FEDERATION)

Phone: 7-095-737-7868 Facsimile: 7-095-737-7869

計測機器営業部

〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32

電話 : 0422-52-5984 ファクシミリ : 0422-55-8953

関西支店

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-101 大同生命江坂ビル 10 階

電話 : 06-6368-7041 ファクシミリ : 06-6368-7045

中部支店

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-27-2 日本生命笹島ビル 12 階

電話 : 052-581-7490 ファクシミリ : 052-581-7664

広島営業所

〒730-0037 広島市中区中町 8-12 広島グリーンビル 8 階

電話 : 082-240-7676 ファクシミリ : 082-541-4567

九州営業所

〒812-0037 福岡市博多区御供所町 3-21 大博通りビジネスセンター7 階

電話 : 092-262-5740 ファクシミリ : 092-262-5741

本社

〒180-5679 東京都武蔵野市中町 2-9-32

電話 : 0422-52-5679 ファクシミリ : 0422-51-8455